

桜島の火山活動解説資料

福岡管区气象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台

昭和火口では、本日（10日）05時22分に爆発的噴火¹⁾が発生し、弾道を描いて飛散する大きな噴石が2合目（昭和火口から2km付近）まで達しました。

このことから、本日07時10分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベル3を切り替えました。

桜島の噴火活動は活発化する恐れがあり、昭和火口及び南岳山頂火口から2kmを超えた居住地域近くまでの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。

風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。

降雨時には土石流に注意が必要です。

なお、昭和火口の噴火活動は、2006年6月の噴火以降、長期的には次第に活発化している傾向がみられます。今後の火山活動の推移に注意する必要があります。

○活動概況

・噴煙活動の状況（図1）

昭和火口では、本日（10日）05時22分に爆発的噴火¹⁾が発生し、弾道を描いて飛散する大きな噴石が2合目（昭和火口から2km付近）まで達しました。

鹿児島市消防局桜島東分遣隊によると、昭和火口の南側2.5～3kmの有村町から古里町にかけて降灰がありましたが、住居等に被害はありませんでした。



図1 昭和火口 九州地方整備局大隅河川国道事務所の海潟カメラからの映像
丸囲みは噴石の飛散軌跡で先端が落下地点

1) 桜島では、爆発地震を伴い、爆発音、体感空振、噴石の火口外への飛散、または气象台や島内の空振計で一定基準以上の空振のいずれかを観測した場合に爆発的噴火としています。

※この資料は気象庁のほか、九州地方整備局大隅河川国道事務所のデータも利用して作成しています。
この火山活動解説資料は気象庁ホームページ
(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区气象台ホームページ
(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>) で閲覧することができます。